韓国人新聞記者が迫った、南北の分断と対立の起源。

-これが韓国現代史に横たわった悲劇の源泉だ



吉倫亨-* 吉永憲史-



引き起こされてしまったのか? 知い「解放」の日々―― 終戦と共に訪れた

ハンギョレ新聞元東京特派員が迫った 朝鮮半島が 「悲劇の結末」を 迎えるまでの ■ 26日間。 ■ ―韓国建国に隠された左右対立悲史

1945年、26日間の独立

分断と対立はなぜ引き起こされてしまったのか。 朝鮮半島が「悲劇の結末」を迎えるまでの26日間。

本書は、日本の敗戦で朝鮮半島が解放された1945年に何が起こったのかを、韓国のハンギョレ新聞東京特派員を務めた著者が、日韓の歴史資料を渉猟して記したものです。日本では玉音放送が流れた8月15日。朝鮮の人々が解放の知らせに歓喜の声をあげたあの日から米軍がソウルに進駐した9月9日の、朝鮮半島が「悲劇の結末」を迎えるまでの26日間を探る、ドキュメンタリー。

<CONTENTS>

プロローグ 8.15 は開いた傷口だった

第1章 24時間の三つ巴の戦い

第2章 民族の求心力と怨恨

エピローグ 大韓民国に横たわる葛藤の起源を考える

本体2500円(+税)

四六判 並製 400P ISBN978-4-910034-18-8

著者 略歴 吉 倫亨 (キル・ユニョン)

2001年「ハンギョレ」新聞に入社。社会部、国際部などを経て、2013年9月から3年半、東京特派員として勤務。帰国後、週刊誌「ハンギョレ21」編集長と「ハンギョレ」国際ニュースチーム長を務め、現在、統一外交チーム長。

_{訳者} 吉永憲史 ^{略歴} (よしなが・けんじ)

国際情報修士。日本国際情報学会に所属し、北東アジア情勢や韓国の政軍関係を研究。防衛省などで30年以上にわたって情報活動の最前線で活動した経歴を活かし、安全保障ジャーナリスト、セキュリティコンサルタントとしても活動中。ダイヤモンド、朝日新聞、BS日テレなどメディア出演も多数。

ご注文数

冊

内容に関するお問い合わせはハガツサブックス(本間)まで。 Add/150-0002 東京都渋谷区渋谷1-10-7 南館305 Tel/03-6427-2658 Fax/03-6427-2659 e-mail/info@hagazussa-b.com



ハガツサブックスの本はトランスビュー経由(直接取引)にてお届け致します。『取次経由』のご要望がございます場合は、必ず枠内のお取引方法にて、『取次経由』にチェックを入れてください。配本はございません。1冊からお気軽にお申し付けください。

(返品随時可/送料元払/取次ルートは完全買切)

書店の皆様へ

※ご注文数の欄にご希望数を明記いただき、 下記FAX(フリーダイヤル)にてご注文ください。



ハガツサブックスの本は BOOKCELLAR

からもご注文いただけます



貴社名

ご担当者様お名前

お取引方法 ※どちらかにチェックしてください。

□トランスビュー直接取引

□取次経由